

# 茨城 全研ニュース #5

認知症の人と家族への援助をすすめる  
第35回全国研究集会 in 茨城



公益社団法人 認知症の人と家族の会 茨城県支部  
事務局 / 〒300-1292 茨城県牛久市中央 3 丁目 15-1  
(牛久市保健センター隣)  
TEL/FAX 029-828-8089  
E-mail Alz2010ibaraki@yahoo.co.jp

## 今年の全国研究集会は茨城県での開催です。

例年通りやって来た梅雨の季節ですが、梅雨時でないとも風情が湧かないのがアヤメとアジサイではないでしょうか。今年の全研が行われるつくば市は、茨城県南部から千葉県北部にまたがる水郷筑波国立公園の一角をなしています。霞ヶ浦の東端にある潮来（いたこ）市は名曲「潮来笠」で知られる水郷の中心地で、今ちょうど「水郷潮来あやめ祭り」が行われています（写真）。

今年の全研のテーマは「つなぐ」です。家族の会茨城県支部では、目下、全研に向けて県内の様々な団体、機関との連携や協力関係の構築に努めております。

近年、高齢化社会に伴う医療財政のひっ迫も手伝い、長期療養者に対



しては、在宅介護が推し進められています。しかし、医療や介護の専門家でもない家族が、一時も目が離せない認知症の人を看続けることの苦労は計り知れません。現在、様々な職種から、そうした介護家族への支援の手が差し伸べられてはいますが、まだまだ、とても十分とは言えません。そこで今回は、在宅看護や地域看護、保健師のあり方や現状について、県看護協会の相川会長と白川専務理事にお話を伺いました。

### ・認知症介護の現状は？

在宅介護は多くの場合、経済的、体力的、精神的に介護者を追い詰めています。介護者を介護しなければならない状況にあります。介護生活でいっぱいであるが故に尚更なのかもしれませんが、「認知症介護の SOS はここだよ」というのが、一般の方にはまだまだ分か

りづらいと思います。

#### ・保健師の役割は？

保健師は看護師の資格を取った上でなりますから、看護師同様「命、暮らし、尊厳を守り支える」をキャッチフレーズに活動しています。しかし、地域包



括などはお役所なので、就業時間が決まっています、利用者からは「もっと対応の時間を延ばしてくれないか」と言われる事もあります。時間帯をずらした勤務なども、考えていく必要があるかも知れません。役場で待っているばかりでなく、積極的に必要な人の所に出向くべきですし、実際に、民生委員との連絡も取っていて、必要性の高い家には出向く事もあるとは思いますが、人数的にとっても対応しきれないというのが現状だろうと思います。社会福祉士系の生活指導員もこうした任に当たりますが、かなりの重労働と聞きます。

#### ・社会全体としてどうあるべき？

病気に対する偏見に対してはもう少し力を入れて行かないといけなんでしょうね。「認知症になったらお終い」のようなイメージを払拭する必要があります。認知症は癌や交通事故と同じく、どんなに気を付けても避けられない場合もあります。「認知症にはなったけど、幸せに一生を送れた」という事例を沢山知って貰った方がいいです。認知症についても批判されずに自由に話が出来空間は大切です。国民がそういう意識を持つ事が重要です。

家族としてはご本人に「今」心地よくいて欲しいし、ご本人の快さそうな表情を見ることで救われます。認知症になったからどうのこうのではなく、本来その人の持っている優しきなり人柄を失わせないように見ていくことが大事です。

外に出ても交通事故の危険性が無かったり、必ずしも認知症の人にいつも誰かが付き添っていないと安心してできるような街づくりをして欲しいと思います。

**“つなぐ” ～認知症の人とその家族が地域の人と共に生きる社会～**

**2019年10月27日(日)9:30～15:30**

**つくば国際会議場(〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3)**

**今年度のテーマを踏まえ、実践や体験を募集しています。**

- ◆ 発表時間:口述発表 15分程度
- ◆ 応募方法:発表テーマとその内容(約 1,000 字程度)、住所、氏名、年齢、職業を明記して、メールまたは郵便でお寄せください。(締切:2019年6月20日)
- ◆ 応募先:E-mail:office@alzheimer.or.jp,  
郵送:〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町 519 番地  
京都社会福祉会館内  
「家族の会」本部事務局 全国研究集会事例発表係